

Profile



◆ 指揮&コンサートマスター

小山 洋治 Yoji Koyama

岡山大学法文学部法学科卒業後、岡山大学教育学部学士課程卒業。

在学中、岡山大学教育学部音楽教室定期演奏会で、菱川欣三郎氏指揮同管弦楽団でベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を独奏した。

2005年6月、保科洋氏の指揮で一夜にベートーヴェンとメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を独奏する等、多くの協奏曲を独奏した。

リサイタルは、1978年以來8回岡山で行う。この間、東京、横浜、岡山、福山、九州一円におけるソナーレ弦楽四重奏団、ガボア弦楽四重奏団ヴァイオリニスト、ゼフィール合奏団指揮・コンサートマスターとして出演。

岡山大学教育学部非常勤講師（ヴァイオリン、ヴィオラ）を務めた。岡山県立岡山芳泉高等学校教諭を最後に定年退職。ヴァイオリンを木村善之、竹本洋、市原利彦、浦川宜也、指揮を早川正昭の各氏に師事。



◆ オーボエ

上月 真子 Masako Kozuki

倉敷市出身。岡山県立岡山城東高校、愛知県立芸術大学音楽学部管打楽器科を経て2001年にドイツに渡る。国立デトモルト音楽大学にてディプロム、オーケストラコース、室内楽コースを修了。2013年までベルギッシェ交響楽団（ゾーリンゲン）にてオーボエ奏者として在籍。2013年よりデトモルト音楽大学にて講師を務める傍ら、デトモルト室内オーケストラ首席オーボエとして活動。また、木管五重奏にピアノを加えたアンサンブル形態で長年に渡り活動を続ける。演奏活動の傍ら、オーボエリード製作と販売を本格的に始め、ドイツ、スイスなどへも多くのオーボエリードを提供してきた。2019年に帰国、倉敷にオーボエリード アトリエKOZUKIを構え、オーボエリード製作販売開始。これまでにオーボエを吉田容子、有道惇、小畑善昭、ゲルノット・シュマルフス、ヨーゼフ・キシユの各氏に師事。



ゼフィール合奏団



1971年夏、精緻なアンサンブルをめざして岡山大学交響楽団OBが中心となり「ゼフィール室内合奏団」の名称で創立されました。木管五重奏と弦楽合奏のジョイント方式で「いつかベートーヴェンの交響曲を」との夢の目標を掲げて定期演奏会を始めました。

コレッリ、ヴィヴァルディ、バッハ、ヘンデル、モーツァルトを柱に弦楽合奏の神髄を求めて研鑽し、1986年に名称を「ゼフィール合奏団」に変更しました。

2010年からベートーヴェン交響曲全曲演奏会を始め、2021年（創立50周年）に第9番「合唱付き」を演奏して夢の目標を実現しました。

新たな目標を「名曲名演奏」として、年に一回の演奏会を行っています。

これまで、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスター、ライナー・ホーネック氏をはじめ、国内外、県内の演奏家をお迎えして協奏曲も意欲的に取り組んできました。常任指揮者は創立以来小山洋治。